

文書番号: 183771 - 最終更新日: 2003年8月21日 - リビジョン: 1.0

[VB] ActiveX コンポーネントで作成されるレジストリエントリ

この記事は、以前は次の ID で公開されていました: JP183771

概要

ActiveX(R) コンポーネントは、インプロセス サーバー、アウトプロセス サーバー (ローカルまたはリモート) のどちらにもなることができます。ActiveX コンポーネントを Windows(R) 95 または Windows NT(R) 4.0 マシンに登録すると、固有のエントリが Windows レジストリに作成されます。クライアント アプリケーションは、このレジストリ エントリを使ってコンポーネントにアクセスします。ActiveX コントロールも、Windows レジストリに登録されるインプロセス サーバーの 1 つです。この資料では、トラブルシューティング時に役立つ、ActiveX コンポーネントのレジストリ エントリに関する情報を紹介します。

詳細

インプロセス コンポーネントは、Regsvr32.exe などのユーティリティで登録することができます。Regsvr32.exe ユーティリティは、コンポーネントの DllRegisterServer メソッドを呼び出します。このとき、Windows レジストリにエントリ セットが作成されます。アウトプロセス サーバーに登録する方法は、場合によって異なります。

この資料では、レジストリ キーの HKEY_CLASSES_ROOT にフォーカスをあてて説明を行います。このキーと同じ情報は HKEY_LOCAL_MACHINE/Software/Classes にも格納されていますが、トラブルシューティングやレジストリ キーの削除といった場合は、HKEY_CLASSES_ROOT の方を使用します。

HKEY_CLASSES_ROOT を展開すると、最初にファイル拡張子がリストされます。ファイル拡張子の後には、スペシャル キーで構成される ProgID (Programmatic Identifier) が続きます。

通常 ProgID の名前には、コンポーネントの ClassID を直接参照することができる見分けやすい名前が付けられています。ProgID の標準フォーマットは <Application>.<Class>.<Version> ですが、このフォーマットは必ずしも守らなければいけないものではありません。事実、<Version> 部分はよく省略されています。ProgID の例としては、"Word.Application.8"、"Excel.Chart" などがあります。

各 ProgID は ClassID を参照します。ClassID (または CLSID) のフォーマットは次の通りです。

```
{xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx}
```

HKEY_CLASSES_ROOT には、ProgID の他に AppID、CLSID、Component Categories、Interface、Licenses、TypeLib などといったスペシャル キーも定義されています。ActiveX コンポーネントに関する情報は、こうしたスペシャル キーのどれかに入力されます。この資料では、スペシャル キーの中から特に CLSID、TypeLib、Interface にフォーカスをあてて説明します。この他のスペシャル キーについての詳細情報については、「関連情報」で紹介する資料を参照してください。

重要: この資料では、レジストリを編集する手順を紹介します。レジストリを編集する前に、必ずレジストリの復元方法を理解しておくようにしてください。問題発生時に必要となります。レジストリ復元についての方法は、レジストリ エディタ (Regedit.exe) のヘルプ ファイルをご覧ください。

次に紹介する手順は、特定のコンポーネントの参照すべてをレジストリから削除したい場合や、特定のコンポーネントのレジストリ問題に対処したい場合などに役立ちます。

以下に、レジストリで目的の ActiveX コンポーネントの参照を探す手順を示します。

1. レジストリ エディタ (Regedit.exe) を起動します。
2. まず最初に ProgID (Programmatic Identifier) を探します。ProgID は HKEY_CLASSES_ROOT 直下にあります。繰り返しになりますが、ProgID のフォーマットは <Application>.<Class> です。(例: MSComDlg.CommonDialog.1)
3. 目的のコンポーネントの ProgID が見つかったら、キーを展開して CLSID サブキーを選択します。
4. 右側のペインに、その ProgID に関連付けられている ClassID が表示されます。(例: {F9043C85-F6F2-101A-A3C9-08002B2F49FB})
5. [(標準)] 文字列アイコンをダブルクリックして [文字列の編集] ウィンドウを表示して、[値のデータ] フィールドから ClassID 値をコピーします。
6. HKEY_CLASSES_ROOT\CLSID を選択して展開します。このとき表示されるサブキーが ClassID です。
7. [編集] メニューから [検索] を選択します。先ほどコピーした ClassID 値を [検索する値] フィールドに貼りつけます。[次を検索] ボタンをクリックすると、該当する値が検出されます。
8. 検出されたサブキーを展開します。このとき、InprocServer32、ProgID、TypeLib、Version がサブキーとして表示されます。
9. TypeLib サブキーを選択し、右側ペインの [(標準)] 文字列アイコンをダブルクリックして [文字列の編集] ウィンドウを表示し、TypeLibID の値のデータをコピーします。
10. HKEY_CLASSES_ROOT\TypeLib を選択して展開します。
11. [編集] メニューから [検索] を選択します。先ほどコピーした TypeLibID 値を [検索する値] フィールドに貼りつけ、[次を検索] ボタンをクリックします。検出されたサブキーには、コンポーネントの Type Library に関する情報が格納されています。
12. HKEY_CLASSES_ROOT\Interface を選択して展開します。
13. [編集] メニューから [検索] を選択します。先ほどコピーした TypeLibID 値を [検索する値] フィールドに貼りつけ、[次を検索] ボタンをクリックします。
14. これまでの検索と違い、Interface サブキーでの検索は、TypeLibID とその TypeLibID に関連付けられている InterfaceID に対して行われるため、検索結果が一对多となります。そのため InterfaceID をすべて検索するには、[次を検索] ボタンをクリックするか [F3] キーを押してください。

関連情報

『 Inside COM 』 (ISBN 1-57231-349-8)Dale Rogerson 著、Microsoft Press
発行 (英語)

『 Inside COM 』 (ISBN 4-7561-2176-4)Dale Rogerson 著、アスキー出版局発行 (日本語)

Windows 95、Windows NT レジストリに関連した情報についてのリストは、米国 Microsoft Corporation から提供されている以下の Article ID の Knowledge Base をご覧ください。 ARTICLE-ID: [173014](#)

(<http://support.microsoft.com/kb/173014/EN-US/>)

TITLE : INFO: Windows Registry Resources

関連情報

この資料は米国 Microsoft Corporation から提供されている Knowledge Base の Article ID [183771](#) (<http://support.microsoft.com/kb/183771/EN-US/>) (最終更新日 1998-12-01) をもとに作成したものです。

この資料は以下の製品について記述したものです。

キーワード: kbinfo vb5 vb6 KB183771

"Microsoft Knowledge Baseに含まれている情報は、いかなる保証もない現状ベースで提供されるものです。Microsoft Corporation及びその関連会社は、市場性および特定の目的への適合性を含めて、明示的にも黙示的にも、一切の保証をいたしません。さらに、Microsoft Corporation及びその関連会社は、本文書に含まれている情報の使用及び使用結果に
support.microsoft.com/kb/183771/ja

つき、正確性、真実性等、いかなる表明・保証も行ないません。Microsoft Corporation、その関連会社及びこれらの権限ある代理人による口頭または書面による一切の情報提供またはアドバイスは、保証を意味するものではなく、かつ上記免責条項の範囲を狭めるものではありません。Microsoft Corporation、その関連会社 及びこれらの者の供給者は、直接的、間接的、偶発的、結果的損害、逸失利益、懲罰的損害、または特別損害を含む全ての損害に対して、状況のいかんを問わず一切責任を負いません。(Microsoft Corporation、その関連会社 またはこれらの者の供給者がかかる損害の発生可能性を了知している場合を含みます。) 結果的損害または偶発的損害に対する責任の免除または制限を認めていない地域においては、上記制限が適用されない場合があります。なお、本文書においては、文書の体裁上の都合により製品名の表記において商標登録表示、その他の商標表示を省略している場合がありますので、予めご了解ください。"



お問い合わせ

マイクロソフトへ問い合わせる

サポート オンライン

Microsoft

©2010 Microsoft